

2020年度第1回町田市環境マネジメントシステム外部評価委員会

議事要旨

【日 時】 2020年8月12日（水） 書面開催

【場 所】 なし

【出席者】 委員： 松波委員(委員長)、奥委員(職務代理)、斉藤 崇委員、
檜山委員、須永委員、斎藤 之良委員、勝間田委員、
伏見委員

※意見・質問記入様式の提出をもって、出席とみなします。

事務局： 町田市環境資源部 荻原、

環境政策課 宮坂、川瀬、土志田、井上、香山、西、藤森

コンサルタント： 株式会社知識経営研究所

【傍聴者】 なし

議題

1 2020年度外部評価の進行について

- 資料により、事務局から第2回外部評価委員会までの議題及びスケジュールの確認を行った。

2 環境マネジメントシステムの実績報告について

(1) 2019年度実績について

- 資料により、事務局から説明を行った。

松波委員長： 2019年度活動テーマ別の実績評価について

エネルギー、資源の実績評価が向上したことにより、総合評価は良くなっているが、エネルギーについては、2020年2月、3月のコロナの影響があり、過大評価の可能性もある。

グリーン購入達成率について

取引先で適合品を扱っていなかったケースが多かったとのことであるが、そのような場合は、分母から除くことも考えるべきなのではないか。

環境法令の遵守について

不適合件数 80件とのことであるが、他自治体と比べてどう考えられるか（件数が多いと考えられるか、少ないと考えられるか）。

奥 委 員： 温室効果ガス・エネルギーについて

増減要因の二つ目の▶において、新型コロナウイルスの感染拡大による影響で2020年2月～3月のエネルギー使用量が落ち込んだことなどが影響していると考えられるとあるが、果たして本当にそうなのか。他の期間に比して、2020年2月～3月のエネルギー使用量が、この年に限り顕著に減少していることがデータからも確認されているのか。そして、それが新型コロナウイルスの影響によるといえるのか。

資源（廃棄物）

増減要因の二つ目の▶において、夏の大型台風の影響を受け、汚泥等の処分量が大幅に増加したとあるが、通常の業務にともない平時において排出される廃棄物と、いわば不可抗力で発生してしまう災害廃棄物とは分けて集計したほうが良いのではないか。

グリーン購入達成率

非適合品購入の理由「その他」については、取引先で適合品を取り扱っていなかったケースや、意識せずにグリーン非適合品を購入していたケースがあったとのことであるが、こうしたケースに改善の余地はあると考えられるか。たとえば、適合品の購入割合を向上させるために、取引先への働きかけ/取引先の変更を行ったり、意識醸成による適合品購入割合の向上を図ることは可能か。

エコオフィス（職員共通）

環境推進員による「グリーン購入」の評価の平均は4.2点となっているのに対して、同資料P11のグリーン購入達成率に係る評価は2点となっており、両者の間に意識の乖離が生じている。このギャップを埋める手立てを講じなければ、実際のグリーン購入達成率の向上（特に非適合品購入の「その他」の割合の低減）につながらないのではないか。

研修の実施

内部環境監査員の研修を除き、軒並み出席率がダウンしており、非常に残念な結果となっている。

環境法令の遵守

不適合件数のうち是正済み件数が示されているが、是正済みでない案件についてはどのような状況になっているのか。39頁の未是正案件の理由の欄にも、理由が記載されていない部分もあり、不適合状態が放置されているように見えてしまいかねず、より丁寧な説明と何よりも迅速な是正対応が求められる。

2019年度実績データ集

電力契約について、市有施設全体で新たな統一的な基準を構築し、2019年度から環境に配慮した電力調達を全庁的に実施しており、排出係数のより低い事業者への変更や中小規模の施設における新たな電力事業者と契約締結が進んだことなど、具体的な成果も出てきているようで、前向きかつ先進的な取組みとして大いに評価できる。

齊藤委員： 温室効果ガス・エネルギー

右側の「増減要因」のところで「新型コロナウイルス感染拡大の影響で2020年2～3月のエネルギー使用量が落ち込んだ」とあるが、2月および3月とそれ以外の期間に分けたときに、前年度比はどのようになっているか。細かく分けることが難しければ、四半期で4月～12月と1月～3月としても良いが、新型コロナによる影響を分けてみる事が出来るとよい。

資源（廃棄物）

大型台風の影響による汚泥等の処分量が271トン増とあるが、その影響がなければ排出量は2000トンを下回る水準であったという理解でよいか。また再利用率が前年と同様の低い水準にある理由はなにか。

グリーン購入達成率

グリーン購入達成率の低下をどのように捉えるべきか。前年度よりも非適合品の購入割合が高くなっているが、前年度まで適合品を購入していたものの、非適合品に変更したものがどのくらいあるのか。またその理由はなにか。

グリーン購入達成率

上述の質問と重なる部分があるが、何らかの理由で非適合品を購入せざるを得ないようなことがあるのだろうし、達成率を100%にすることは難しいのかも知れない。ただ調達にあたって、それまで適合品を購入していたものを非適合品に変更、あるいはその逆が起こっている場合に、どのような理由で変更したのか、どういう工夫をおこなったのか等の情報を整理し、共有できるとよいだろう。

環境法令の遵守

「環境法令遵守チェックシート」を運用することで、不適合事例が多く確認されたが、これは今まで明らかにならなかったものが表に出てきたのだと理解している。一方で、同じようなことが今後起こらないようにするために、どのような取り組みをおこなっているのか。P15の研修の内容に反映されているのか。

資源（廃棄物）

P9の質問に関連するが、大型台風による汚泥等の処分量271トンの影響を取り除いて考える場合、この図にある処分量1036トンから差し引いてみればよいのか。また上述の台風の影響を除いてみた場合の再利用率はどのくらいになるのか。

その他

実績データを評価するにあたり、いくつか細かい情報を参考として付けておくとういだろう。たとえば、エネルギー消費に関して、2月以降は新型コロナウイルスの影響が出ているが、その影響がどのくらいで、それ以外の期間はどうかであったのか。また廃棄物についても、夏の大型台風による影響が出ているが、その部分を取り除いたらどうなるのか、といったものである。廃棄物については、2018年度においても建て替えによる大量廃棄の影響が出ており、1年間の集計データだけでは評価しづらいところもある。特殊要因が発生した場合に、「参考値」を推計できるようであれば示した方がよいだろう。

檜山委員： **資源（廃棄物）**

3Rの推進に取り組まれているにも関わらず、再利用率が2015年度から1.1ポイント低下している要因は、把握されていますでしょうか。

資源（廃棄物）

廃棄物、紙は、目標値を設定しないものの、実績値を把握・管理する指標とされていますが、参考値として評価点は4点として評価されています。目標値が設定されていない中、評価点はどのように算定されているのでしょうか。

資源（紙）

2018年度のシステム更改により、従来集計対象としていたコピー用紙以外の紙の総購入量の抽出が出来なくなり、2017年度以前との実績比較は参考値となっています。2018年度と比較して約150万枚紙の購入量が減少している点は評価できますが、コピー用紙以外の紙を含む2015年度の紙購入量との比較値で評価を行うのは適正ではないと考えております。2015年度の紙購入量の実績値からコピー用紙以外の紙の総購入量を除いて比較を行っているのでしょうか。

2019年度活動テーマ別の実績評価

「公用車の適正使用」の取組みの工夫として、複数名で乗り合わせ、職員がお互いに協力し、一度の外出で数ヶ所の案件を済ませることを紹介されていますが、コロナ禍では推奨される行動ではないため、例えばエコドラ

イブに関する取組みを紹介した方が、今後のアクションに結び付きやすいのではないのでしょうか。

温室効果ガス・エネルギー

2019年度の非エネルギー起源温室効果ガス排出量は、2015年度から25%減少していますが、2018年度と比較すると17%増加しています。増加原因は、把握されているのでしょうか。

須永委員：

資源（紙）

小中学校の増加の理由は生徒数等の増加等が要因となっているのか？

グリーン購入達成率

今後グリーン購入率を向上させるために、なにか方策は検討されているのか？

その他

メールで資料を受けたものの、やはり理解しにくく、なかなか意見、質問がしにくい状況であります。ご理解いただければと思います。（今後委員の皆さんからどのような質問、意見があるかを参考にしたいと思います。）

斎藤委員：

2019年度活動テーマ別の実績評価

「2018年度より市内システムの更改」については具体的な内容の注記が欲しい。

資源（紙）

今後の活動として、コロナ禍により利用が進んだリモート会議やIT推進などによるペーパーレス化の効果は期待できるか？またその障害となる課題は何か？

環境法令の遵守

環境法令遵守チェックシートの導入はマニュアル化による管理品質改善につながると評価できます。注意点として法令改正のフォローとトレーサビリティを的確に行うために改訂記録(法令番号)を付記することが必要と考えます。

情報公開

HPについて町田市の環境政策に対する基本的な考えが適切な構成で表記されていないため活動が伝わりにくい。

<https://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/kankyo/kankyo/index.html>

項目だけの階層が続くためアクセスしにくい。改善してほしい。

第三者評価結果（概要）

温室効果ガスの排出に関してコロナ新型ウィルスの影響（減少傾向）が示されている。この影響がなかった場合にはどの程度の削減が実現できていたと推定されるか？

勝間田委員：

グリーン購入達成率

非適合品購入の理由 「・予算の都合や、業務に必要な品質を考慮した結果、非適合品を購入せざるを得なかったものと考えられます。 ・取引先で適合品を取り扱っていなかったケースが最も多く、その他に意識せずにグリーン非適合品を購入していたケースが見受けられました。」という内容を読んで、適合品を取り扱う業者や適合品の一覧を作成して、購入努力をすることは難しいのでしょうか？せっかく取り組みとして活動しているのに、もったいない理由だなと思いました。

温室効果ガス・エネルギー

温室効果ガス排出量の推移について削減努力はみられますが、コロナウィルスの影響によるもの（休校等）と思われる要因が大きいので、単純に前年比と比較することは適正な評価とは思えません。
市民病院での取り組みは温室効果ガス削減への積極的な取り組みと評価できます。

資源（紙）

ペーパーレス化が進む時代の流れに合わせた取り組みを実施していることは評価に値すると思います。

コロナウィルス感染予防の観点から不特定多数が同じペンや机を使用しないことや市民の目に映る削減取り組みの一環として、今後、市役所での書類申請等も電子化が進むといいのではないかと思います。

温室効果ガス・エネルギー

- ・2019年度から入札に新たな基準を構築し、運用したこと。
- ・その結果、中小規模施設で新しい契約が確認されたこと。

上記に関しては、積極的な温室効果ガス・エネルギー削減の取り組みとして評価できると思います。
新たな取り組みの結果として、どのような数値があげられるか期待します。

伏見委員：

エコオフィス（施設担当部署）

エレベーター・エスカレーターの不要時停止が実施されていない施設が10か所あるが、理由があるのではないか？

内部環境監査

(参考資料を踏まえて) 町田市施設のLED化は進んでいるのでしょうか？
小山田小学校の蛍光灯の交換量が多かったのはそのためでしょうか？

温室効果ガス・エネルギー

一般廃棄物中のプラスチックごみの減少というのは「リレーセンターみなみ」の容器包装プラスチックの中間処理施設が稼働しているからでしょうか？

リサイクルが定着してきたからでしょうか？

温室効果ガス・エネルギー

市庁舎が2019年の12～3月に契約している「ホープ」は、排出係数が0.568と高いですが、何らかの利点があったのでしょうか？

エコオフィス（施設担当部署）

給湯の評価が低い生涯学習部・議会事務局などはどのような理由で低いのでしょうか？

エコオフィス（職員共通）

経済観光部の評価が全体的に低いのですが、どうしてなのでしょう？

※各委員よりいただいた意見・質問のうち、評価に関わる内容については、第2回委員会資料として事務局から回答いたします。